

11 住民自治、コミュニティ

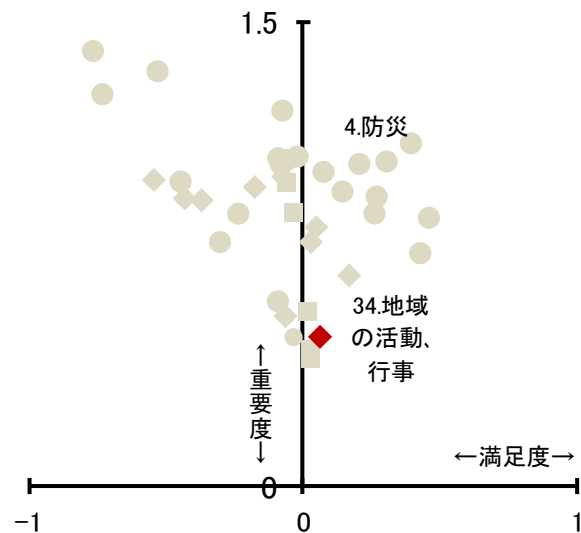
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

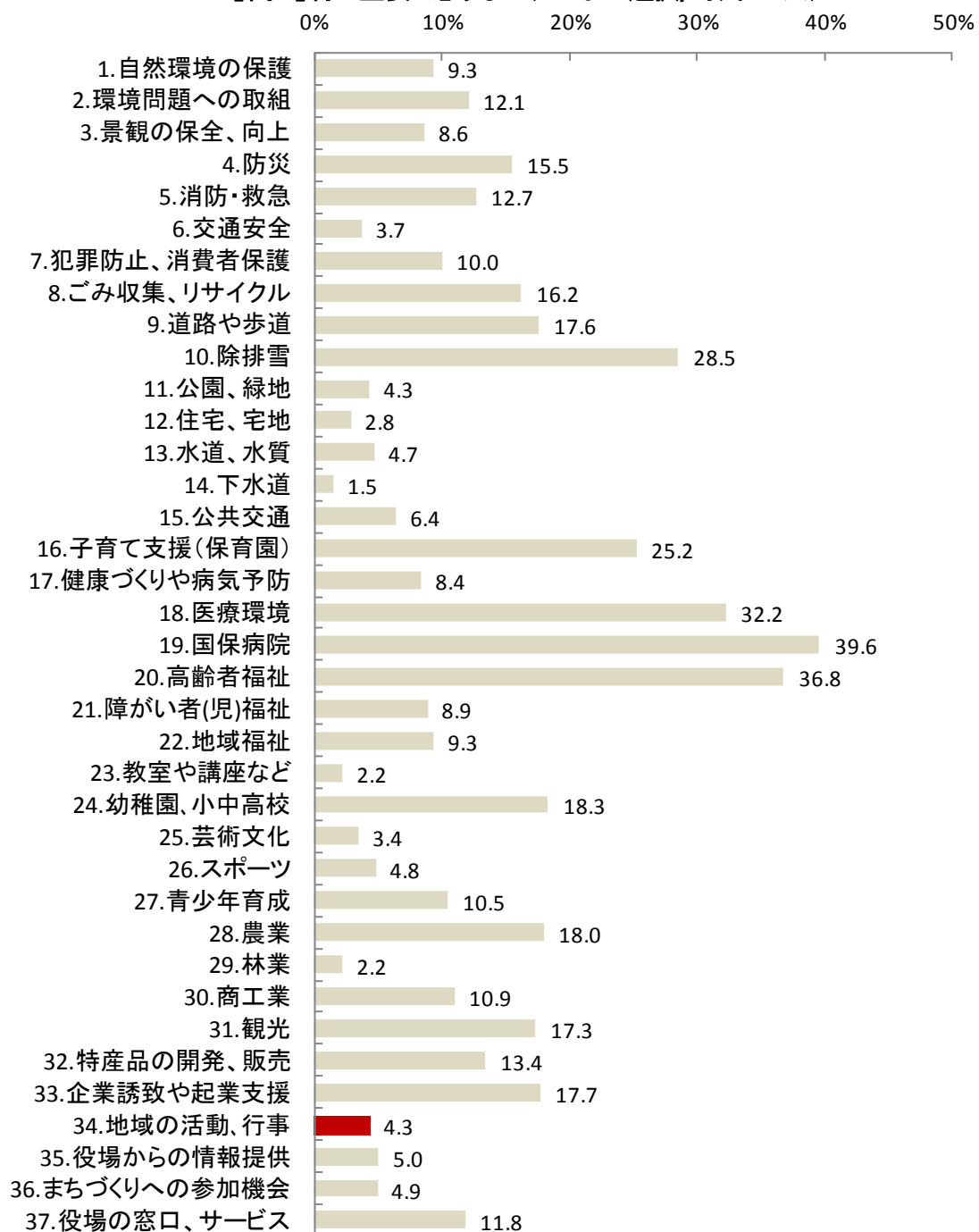
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。

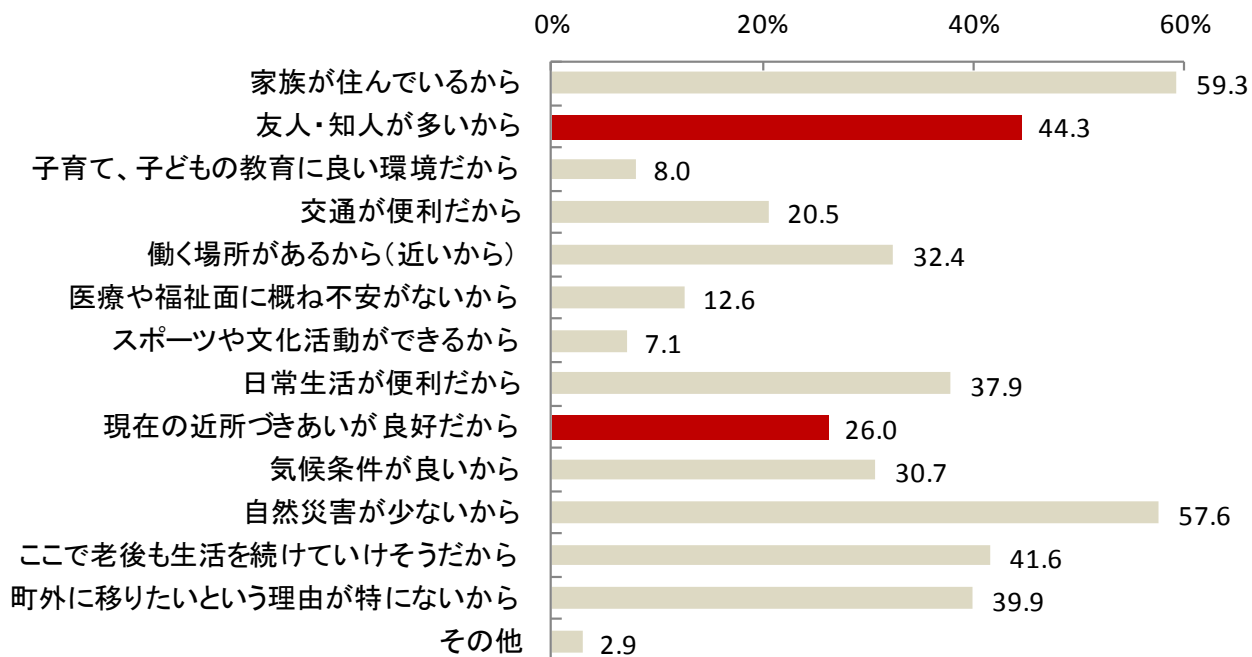


【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



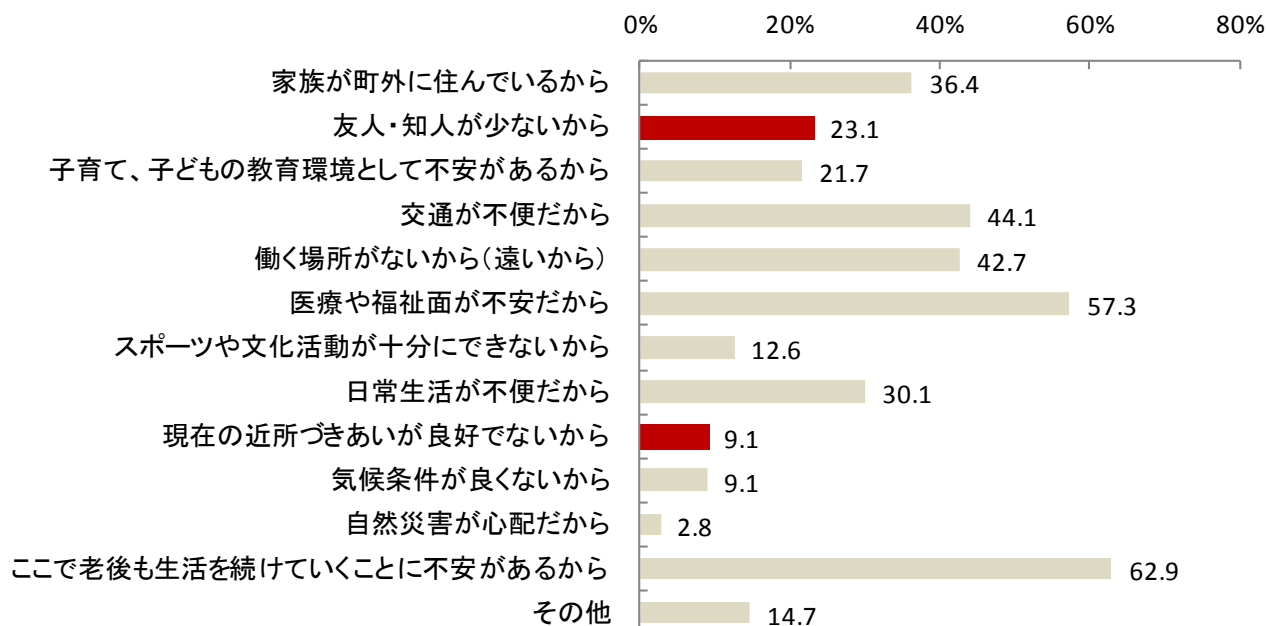
町民

【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)

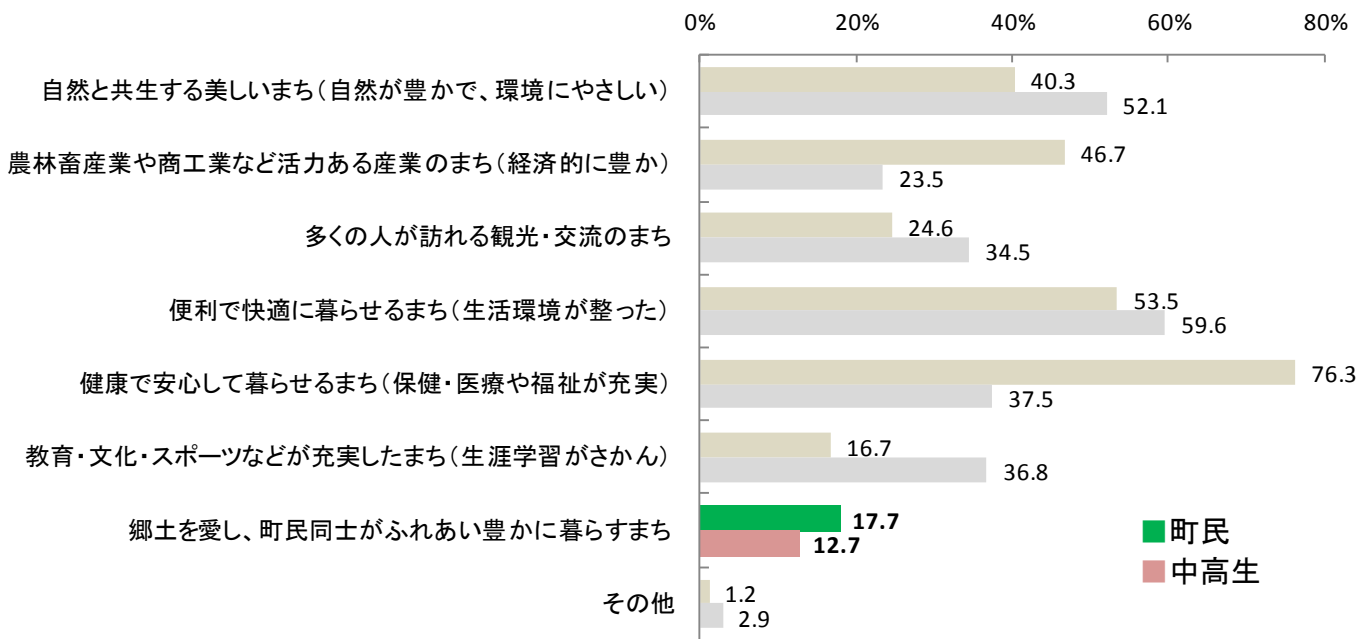


町民

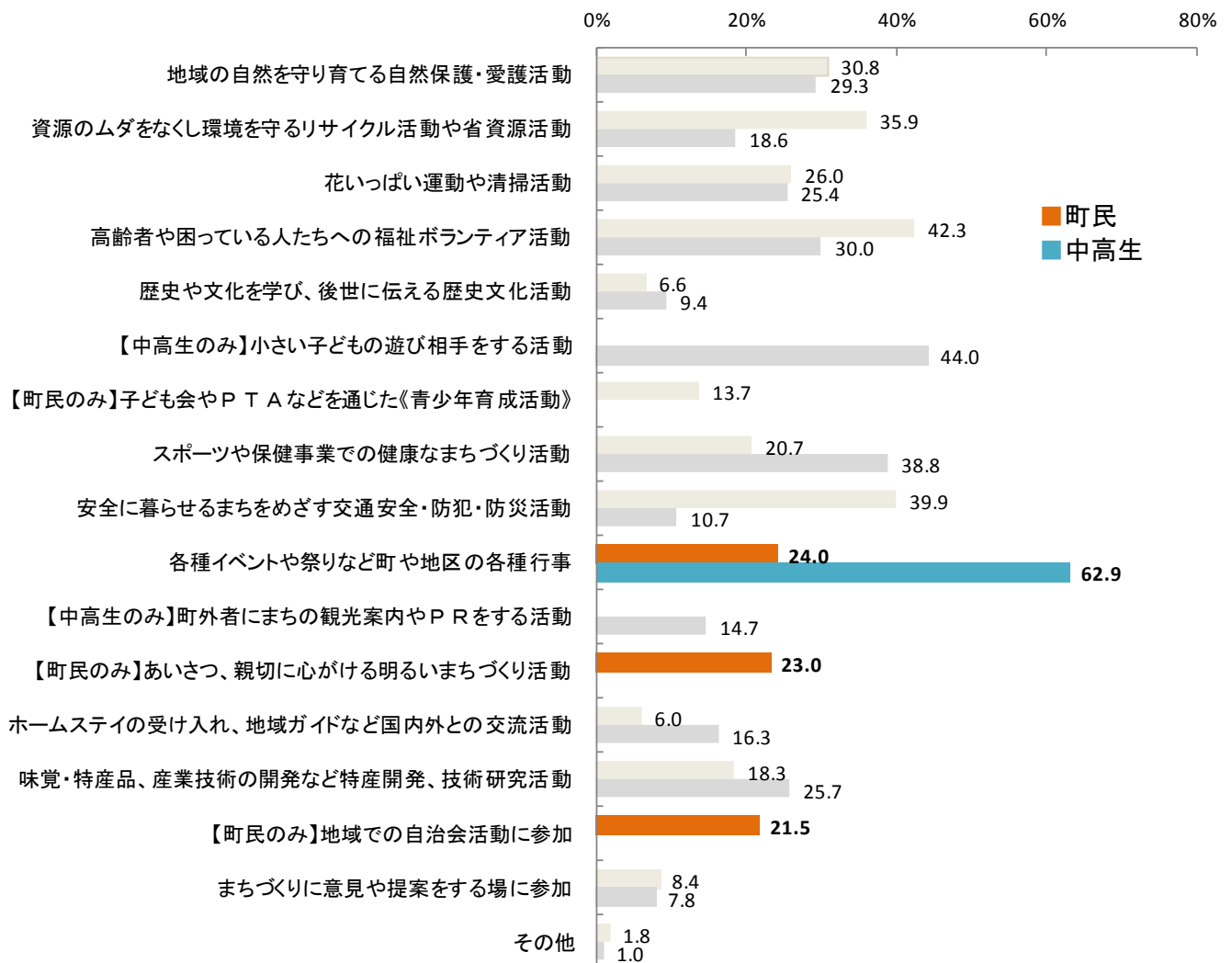
【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
コミュニティ活動の促進	コミュニティ組織や人材の育成	自治会連合会や各部会へ補助を行っている。	人口減少や高齢化に伴う、後継者不足が課題となることが予想される。	コミュニティ組織が活動することにより地域が密接に関わり、孤立化を防ぎ連帯感が深まるため、補助・協力を行っていく。
	自治会などコミュニティ組織の活動支援	平成 26 年度に単位自治会活動の充実を図るため、自治会活動運営等補助金を増額した。	自治会の未加入者対策が課題となっている。	コミュニティ組織が活動することにより地域が密接に関わり、孤立化を防ぎ連帯感が深まるため、補助・協力を行っていく。
	各地域を単位としたまちづくり活動の促進	地域集会施設を利用した自治会活動の充実を図るため、自治会所有の集会室を対象として、平成 26 年度に水道料金の基本額等の補助と、修繕工事の補助を新設した。	左記補助金は主に農村地区が対象であるが、離農などに伴う農村地区の人口減少が課題となっている。	地域集会施設を利用したコミュニティ活動を促進していくため、補助・協力を行っていく。
	地域での町民相互の交流や支えあいの促進	地域集会施設を利用した自治会活動の充実を図るため、自治会所有の集会室を対象として、平成 26 年度に水道料金の基本額等の補助と、修繕工事の補助を新設した。	左記補助金は主に農村地区が対象であるが、離農などに伴う農村地区の人口減少が課題となっている。	地域集会施設を利用したコミュニティ活動を促進していくため、補助・協力を行っていく。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ★ : 中高生 ⊗ : 育児ママ 𐄞 : 自衛隊 ⌘ : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

☺ 町 みんなが挨拶をしてくれる

☺ みんなが元気（あいさつが元気に返ってくる）

★ ジャニーズのコンサートをしてほしい

★ 祭りやイベントを増やしてほしい

● 子供が朝、人に会って挨拶が出来るような町になってほしい。（女性・50代）

● 時代が流れ変わっても人のつながりを大事にできる町づくりを目指していてもらいたい。（40代）

<自治会など>

● 自治会や町内会のあり方。（女性・50代）

● 限界集落（限界自治会）対策。地域コミュニティが崩壊してしまうが想定される

● 町づくりの基本は、地域の発展と住民意識の向上が欠かせないものと思っています。特に、自治会活動に町行政がいかにかかわっていくかが重要と思いますが、残念なことに、町職員及び国の機関（自衛隊員）の職員の自治会活動への参加があまりにも少なく、美幌町の将来が心配です。美幌町の発展は、自治会活動の発展が不可欠です。最後に、町長始め、職員の積極的な自治会活動への参加をお願いします。（男性・60代）

<世代交流>

● チビっ子がお年寄りと関わる機会等が頻繁にあっても面白いかと思います。おじいちゃん、おばあちゃんを身近に感じることができて、チビっ子たちの教育にもなるような気がします。（女性・30代）

● 高齢者と子供達がふれ合える場を作ってほしいと思います。（昔の事を見たり聞いたり出来る場）（男性・60代）

○ 子どもから高齢者までが気兼ねなく集う施設の設置。現在の美幌町には目的無く立ち寄る施設がない。散歩のついでに立ち寄る高齢者、カードゲームをするために立ち寄る子ども、少し勉強をするために訪れる学生など、テーブルとイスと明るさのある場所の提供が必要。

○ 以前運営されていた「ばじる」のように高齢者や住民の方々が自然と集まり談笑できるような空間づくり。

○ 将来地域活動を担う子どもと、世代間交流が不足しています。ひとつとして、小地域の拠点であり最も身近な場所となっている学校跡地（会館になっているけど）や学校の空き教室等を活用し地域住民（特に高齢者、障がい者）と子どもたちが、PTA（保護者）の力を借りて交流できる場を創出。子ども達を地域で教育し（学校では道徳の時間もなくなったとか）、将来の超高齢社会に向け地域で支え合う気持ちを子ども達に与える場としても期待でき、さらには高齢者等の通いの場（介護予防）の確保にもなると思います。